

平成30年度7月補正予算の概要

配付資料1

財政課

1. 予算編成のねらい

平成30年7月豪雨で被災された方々が、速やかに普段の生活を取り戻せるよう、また、迅速な復旧・復興のため、被災者の生活再建支援と公共施設の災害復旧を中心に、緊急に対応しなければならない事業について、専決処分により補正予算を編成

本予算を早期に執行するとともに、引き続き、現場のニーズを踏まえ、国や市町村、関係団体等と協力し、災害対応に全力で取り組む。

2. 補正予算額

146億9,027万円

<財源>

国庫支出金	56億8,929万円
県債	6億5,360万円
災害救助基金等繰入金	11億2,652万円
財政調整基金繰入金	72億2,086万円

3. 項目ごとの事業概要

被災者の生活再建支援等

91億4,349万円

避難所における支援の充実や、住宅が被害にあわれた方々の当面の住居の確保などを実施し、被災者の生活再建を支援する。

【主な事業】

■ 避難所の設置・運営等の実施（事業費：877,800千円）

- ・避難所の設置・運営、炊き出し等による食事の提供、飲料水の提供、被服や寝具などの生活必需品の提供・貸与、学用品の提供

■ 仮設住宅の提供（事業費：6,463,000千円）

- ・住宅が被害にあわれた方々のため、建設型仮設住宅、借上型仮設住宅（民間賃貸住宅の借上げ）を提供する。

■ 心の教育総合推進事業（事業費：20,000千円）

- ・被災地域の児童生徒の心のケアを行うため、心理検査を実施し、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置日数を増やす。

■ 中小企業支援センター推進事業（事業費：11,432千円）

- ・被災した事業者の事業再生を後押しするため、財務、労務、資金調達など多くの課題に対し、専門的見地から速やかな助言を行える中小企業診断士などを派遣する。

道路や河川をはじめとした公共土木施設などの応急復旧を早急に実施するとともに、児童生徒への影響を最小限に抑えるよう、倉敷まきび支援学校の復旧を迅速に行う。

【主な事業】

■ **公共土木施設等の応急復旧事業等（事業費：4,669,800千円）**

- ・道路の舗装補修、河川の小規模な緊急浚渫、砂防施設の支障木撤去、港湾施設内の漂流物除去、排水機場や林道の応急対策

■ **一般廃棄物処理対策事業（事業費：100,000千円）**

- ・国道486号線に集積された災害廃棄物の処理が滞っており、通行に支障をきたすだけでなく、復旧に向けた妨げにもなっていることから、県が、道路管理者として、災害廃棄物の撤去・搬出を実施する。

■ **倉敷まきび支援学校災害復旧事業（事業費：561,169千円）**

- ・プレハブの仮校舎の設置、学校管理用及び教材用備品の購入、被災校舎に係る復旧工事の設計、スクールバスの購入、学校地内の汚泥、備品等の撤去